

## 研究課題：

小児腭腫瘍に関する全国アンケート調査に関する研究

### 1. 研究の目的

小児腭腫瘍は非常にまれで、本邦における臨床像をまとめた報告例がほとんどありません。本邦における臨床像をまとめることで、疾患頻度、治療方法、治療成績、予後を把握することができます。また各施設で統一されていない治療方法、フォローアップの方法を検討することができます。

### 2. 研究の方法

国内日本小児外科学会認定施設・教育関連施設(A・B)に小児腭腫瘍に対するアンケート調査(後ろ向き研究)を行います。各施設における診療録などの既存資料から症例の概要、手術項目、予後について評価します。調査用紙を名古屋大学小児外科へ郵送してデータ管理・集計を行います。

### 3. 研究期間

倫理委員会承認後～2027年12月31日

### 4. 研究に用いる資料・情報の種類

各施設から提供された調査票の内容を使用します。内容として、年齢、性別、腫瘍の病理診断、病変部位、腫瘍径、局在、診断契機、化学療法、術式、生存の有無、再発の有無、再発部位、再発治療、最終転帰確認日が含まれており、個人が特定されるよう情報は含まれません(氏名、住所など)。

### 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

外部への資料・情報の提供はありません。

### 6. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 小児外科学

研究協力施設：日本小児外科学会認定施設および教育関連施設(A・B)約190施設

(<http://www.jsps.or.jp/wpcontent/uploads/2022/01/shisetsumeibo2022.pdf>)

(アンケート依頼先)(既存情報の提供のみを行う機関)

地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 外科

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）